

酪農乳業乳製品在庫調整特別対策 事業の実施内容について

2022年3月10日



一般社団法人 Jミルク
Japan Dairy Association (J-milk)

(趣旨)

生乳の需給調整機能を維持する体制を整備し、乳製品の過剰在庫削減を図ることで、酪農乳業の経営の安定に貢献することを目的とする。

(方法)

酪農乳業乳製品在庫対策基金を造成し、この在庫対策基金を活用して、乳製品を飼料用等へ用途変更すること等による価格差に相当する額などを助成する。

(実施期間)

2022年4月から2023年9月までの18か月とする。
尚、在庫対策基金への拠出は2022年度の生乳取引分を対象とする。

(事業実施主体)

- 販売窓口団体：全国農業協同組合連合会、全国酪農協同組合連合会
- 乳製品在庫調整実施乳業者(基金への拠出があり、在庫調整を希望し認められた乳業者)

(対象製品)

乳製品

※乳及び乳製品の成分規格等に関する省令第二条の12に示すもの

※**本事業では脱脂粉乳を対象**(一部ホエイパウダーを対象とする)

※ホエイパウダーは脱バ等向けの代わりにチーズ向けで需給調整した際に発生したホエイで作られたもの

(対象数量)

25,479ト

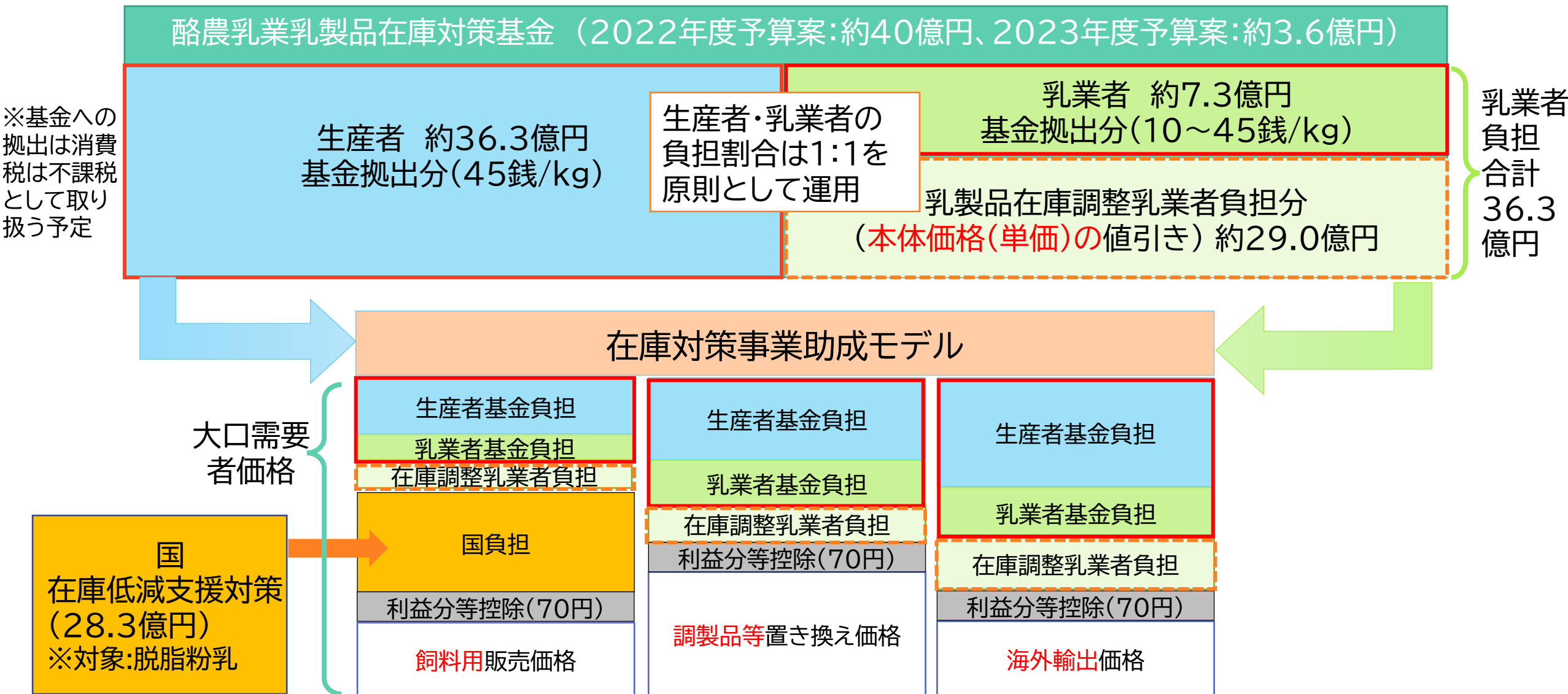
※昨年開催しました酪農乳業意見交換会で取り纏めた、令和元年度末在庫量(76,339ト)と令和3年度末在庫量(101,818ト:1月末Jミルク公表見通し使用)の差

(対策内容)

対策名	対策内容
飼料向け価格差対策	脱脂粉乳等を飼料用に転用し販売することにより生じる価格差に相当する額などを助成
輸入調製品等価格差対策	脱脂粉乳等を輸入調製品等への置き換え使用または販売に活用することにより生じる価格差に相当する額などを助成
海外輸出等価格差対策	脱脂粉乳等を海外向けに輸出することにより生じる価格差に相当する額などを助成

【概要】酪農乳業乳製品在庫対策基金の考え方

新型コロナの影響に過去最高水準に達する恐れのある脱脂粉乳の在庫削減に向けて、生産者・乳業者拠出により酪農乳業在庫対策基金を造成して事業を実施する。



酪農乳業乳製品在庫調整特別対策事業の収支の見通し

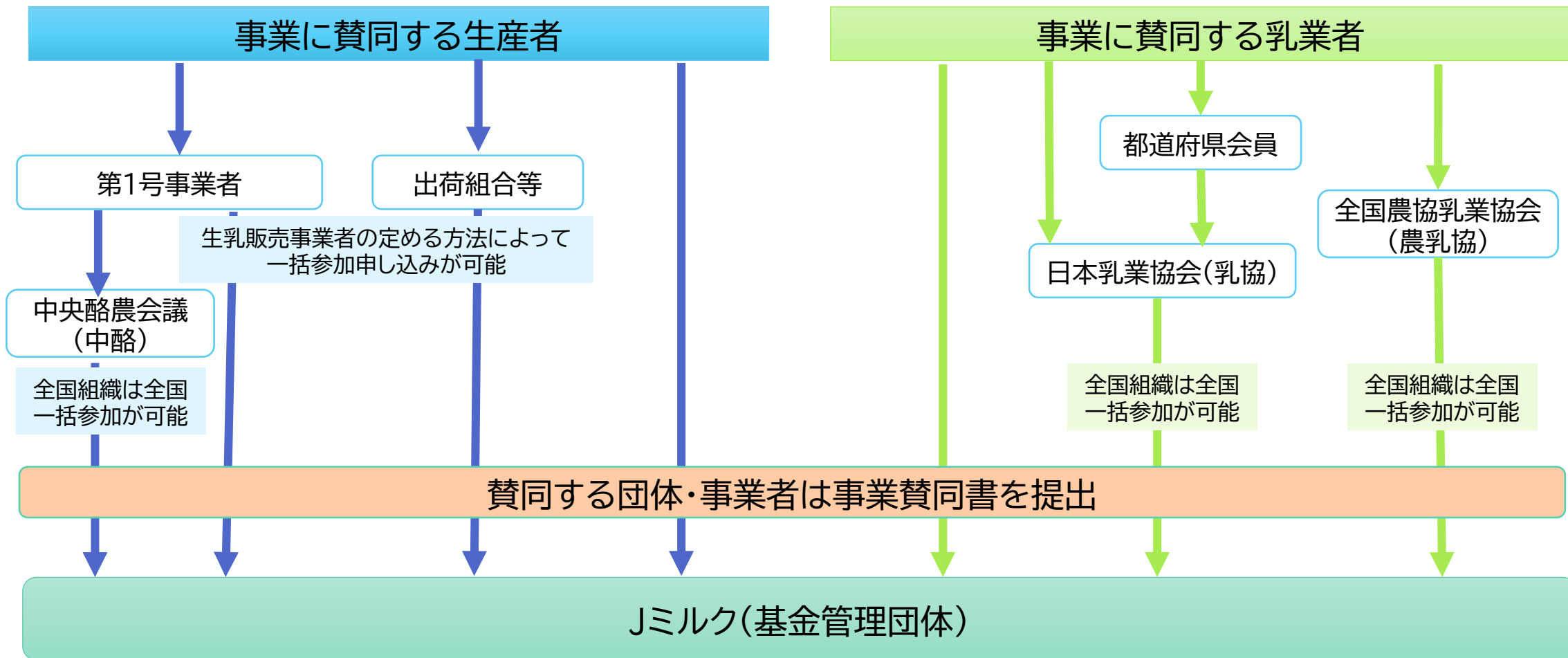
収入項目		2022年4月～2023年3月	2023年4月～2023年9月	合計
収入 (A)	ALIC補助金収入 在庫低減支援対策事	28.3億円		28.3億円
	酪農乳業乳製品在庫 対策基金(生処抛)収入	40.0億円 生産者分33.3億円 乳業者分6.7億円 (2022年4月～23年2月生乳取引分)	3.6億円 生産者分3.0億円 乳業者分0.6億円 (2023年3月生乳取引分)	43.6億円
	合計	68.3億円	3.6億円	71.9億円

支出項目		2022年4～2023年3月	2023年4月～2023年9月	合計
支出 (B)	飼料向け 転用	ALIC補助事業	28.3億円	
		生処抛出事業		
	輸入調製品等置換え (生処抛出事業)	26.93億円	16.67億円	43.6億円
	海外輸出(生処抛出事業)			
	運営費・人件費(生処抛出事業)			
合計	55.23億円	16.67億円	71.9億円	

収支差額(A-B)	13.07億円	▲13.07億円	0.0億円
-----------	---------	----------	-------

※Jミルク2022年度事業計画・収支予算書から作成。支出額については、事業進捗に応じて必要な額を流用するなどして対応する。
 ※乳製品在庫調整乳業者が負担する費用(2022年度26.6億円、2023年度3.0億円)は、抛出とみなすが収入として計上しない。

基金への拠出を募集するため、全国すべての生産者及び乳業者を対象として本事業への協力を関係団体等の協力を得ながら呼びかけ。事業に賛同するかどうかは「事業賛同書」によって確認する。



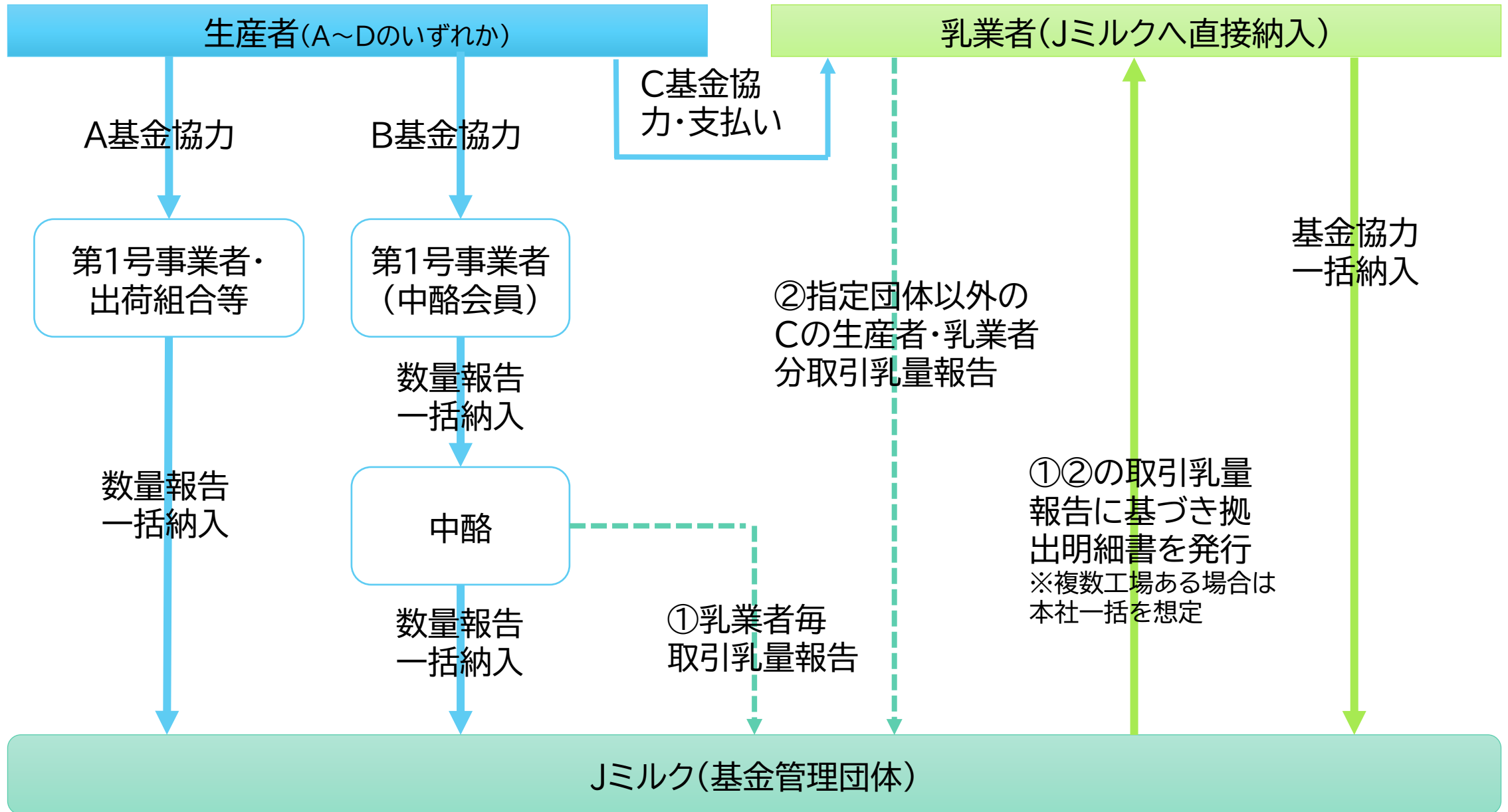
Ｊミルクは「事業賛同書」を提出した事業者・団体等と基金拠出に関する同意書を締結

「事業賛同書」に基づいて、Jミルクと個別事業者・団体等が支払い方法や所属団体等を確認し「基金納入同意書」を締結

生産者(45銭/kg)	
希望する支払方法	同意書の締結者
①生乳販売事業者が直接Jミルクに支払う場合	生乳販売事業者×Jミルク
②生乳販売事業者(中酪会員)が中酪を經由してJミルクに支払う場合	生乳販売事業者×中酪×Jミルク
③乳業者を經由して支払う場合	乳業者×Jミルク(×乳協または農乳協)

乳業者(10~45銭/kg)	
所属団体に応じて締結	同意書の締結者
①乳協会員または間接会員乳業者	乳業者×乳協×Jミルク
②農乳協会員乳業者	乳業者×農乳協×Jミルク
③乳業団体に所属していない乳業者	乳業者×Jミルク

「基金納入同意書」に基づいて、2022年4月の生乳取引分から基金拠出を依頼



事業開始までの手続き等スケジュール

